



石川園長から修了証書を受け取る卒園児。それぞれの成長が感じられる立派な態度でしたね



大切な歌に心を込めて。楽しい思い出がいっぱいの園舎に卒園児が歌声を響かせました

までのりの里のこども園 ずっといっしょのともだち 卒園式



3月18日に卒園式が行われ、19人が修了を迎えました。この日、卒園児の胸には保護者手作りのコーサージュ。一人ひとりが堂々と胸をはって式に臨み、石川幸男園長から修了証書が手渡されると、「ありがとうございます」としっかりと大きな声で答えていました。

式では、園児が保護者に花束を手渡したり、「洗濯してくれてありがとう」「いつもおいしいご飯を作ってくれてありがとう」と日頃の感謝を伝えたりして、成長した姿を見せていました。

いいたて希望の里学園 卒業式



卒業式は3月11日に行われました。関係各位が式辞や祝辞で「困難を乗り越え、伝統や絆を未来につないだ」と13人の卒業生を讃え「培った力を財産に」と前途を励ましました。また、在校生の磯山姫夢さんが、卒業生の優しさや獨創性、情熱に満ちた姿に触れ「功績を受け継ぎよりよい学校をつくりたい」と送辞を述べました。答辞を述べた庄司大夢さんは「ここでしかできない経験」だったと数々の挑戦を振り返り、「今以上に笑顔があふれる学園に」と願いを伝え、学び舎に別れを告げました。



清々しい表情で一人ひとりが壇上に上がり、山田徹校長から卒業証書を受け取りました



庄司大夢さんの答辞。学園やふるさとへの想いにあふれ出席者一同が胸を熱くしました

学園 NEWS 鹿兒島の小学校とオンライン交流学習



3月15日、5年生と、鹿兒島県出水(いずみ)市立下水流(しもずる)小学校の5年生がオンラインによる交流学習を行いました。下水流小学校は震災後から長きにわたり、村の学校に本や文房具、お米などの物資を支援してくださっています。最初は緊張している様子の子供達でしたが、徐々に打ち解け、終盤の質問の時間は互いに大盛り上がりでした。

学園 NEWS 食を考える会から卒業生へ卒業祝い品



3月9日、『飯館村食を考える会』から学園の卒業生に、卒業祝い品が贈呈されました。今年は、健康を願うお守り「さるぼぼ」やオリジナルのハガキなどが贈られました。この日は会を代表して菅野一代さん(比曾)と田村紀恵子さん(二枚橋・須萱)が出席し、「制限ある学校生活を過ごした経験は、必ず今後の自信につながるはずです」とエールを送りました。

学園 NEWS 後期課程の生徒から学びの成果が届く



3月8日、後期課程の生徒が『いいたて学』の学びの成果を杉岡村長に報告しました。報告会は学園と村役場をオンラインで結んで行われました。7年生はこれまでの村について学び作成したレポートと映像を、8年生は現在の村を取材した「いいたて名人図鑑」を、9年生はホストタウンプロジェクトの集大成となったデザインの活用を、それぞれいきいきと報告しました。

学園 NEWS 6年生が村長に提案タウンミーティング



2月25日、6年生と杉岡村長による『タウンミーティング』が開かれました。児童は、農業・商業・医療などをテーマに、村の現状や方針について質問。加えて課題解決に向けた提案も行いました。杉岡村長は「学びの様子に感心しました。一歩進んだ提案をありがとうございます」と感謝。児童も「復興について話し合えてよかった」「またやってみたい」と達成感を得ていたようです。